

3.2 現地調査報告書（2003年10月）

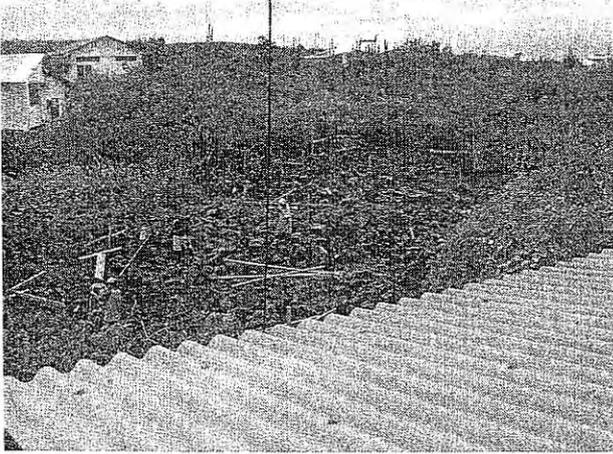
エクアドル国

ガラパゴス諸島海洋保全計画

現地調査報告書

（ビジターセンター建設計画）

平成15年10月



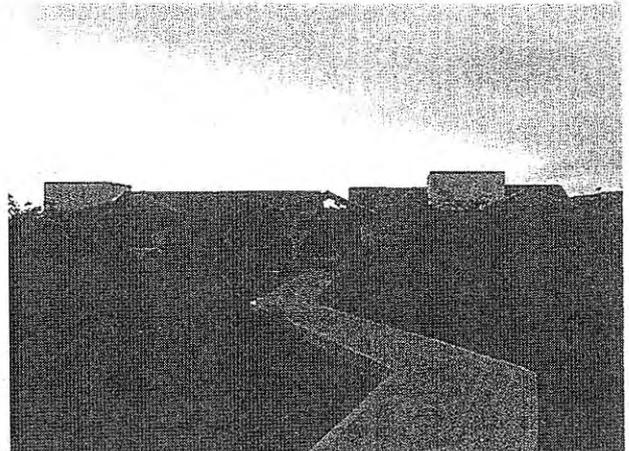
海事資源ユニット増設工事現場
今回の建設予定サイトに道をまたいで隣接する。基礎は溶岩石で覆われている。



海事資源ユニット増設工事現場
現場内は資材の運搬、コンクリート打設も手作業で行われる。



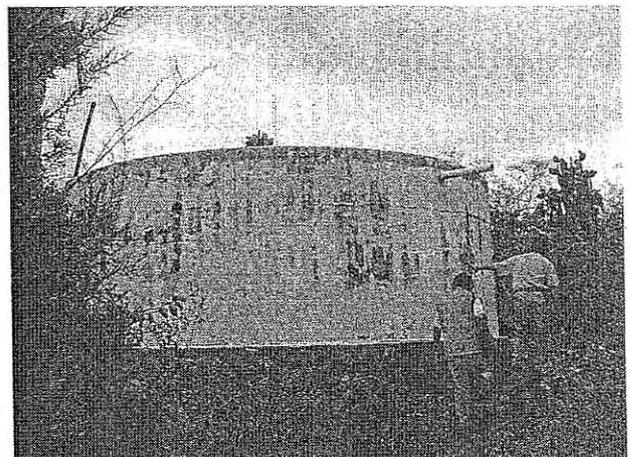
ガラパゴス国立公園 象がめ増殖センター
Galapaguera de Cerro Colorado
(サン・クリストバル島)
施設はほぼ完成しているがオープンしていない。
陸がめの増殖をおこなっている。



ガラパゴス国立公園 象がめ増殖センター
(サン・クリストバル島)
敷地は広大であるが、施設は必要最小限の機能に留めていると思われる。



水源地
ガラパゴス公園敷地内において、岩の間に地下水を揚水ポンプにてくみ上げ、貯水タンクに送る。水は塩分を含むため、直接飲料、工事用水に使用できない。



貯水タンク
貯水容量は5万6000リットル
このタンクから重力にてガラパゴス公園敷地内の施設に給水される。



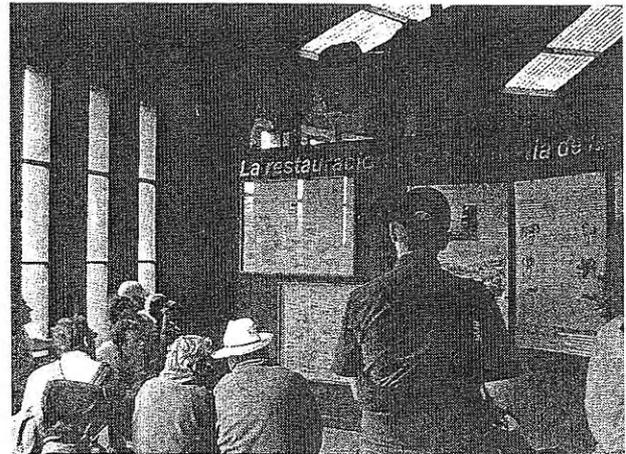
ビジターセンター建設予定サイト
敷地は奥に向かって傾斜している。植生で覆われているが、基礎は隣の現場からの続きで溶岩石と予想される。



ビジターセンター建設予定サイト
サボテンを含む、貴重種の伐採は禁止されており、保護されなければならない。



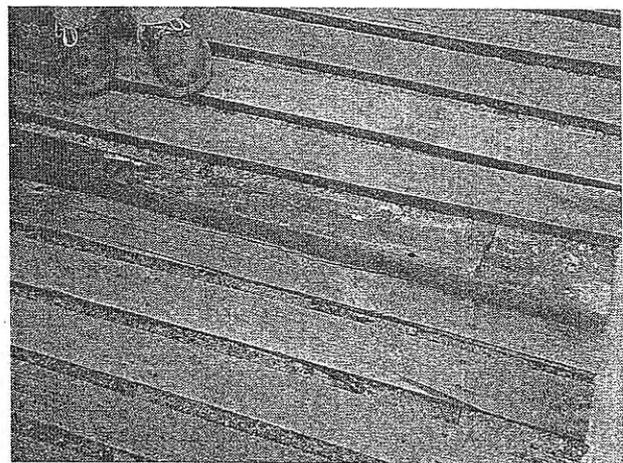
象カメ増殖センター
展示スペースは手前の一部のみで、ほとんど倉庫として使用されている。



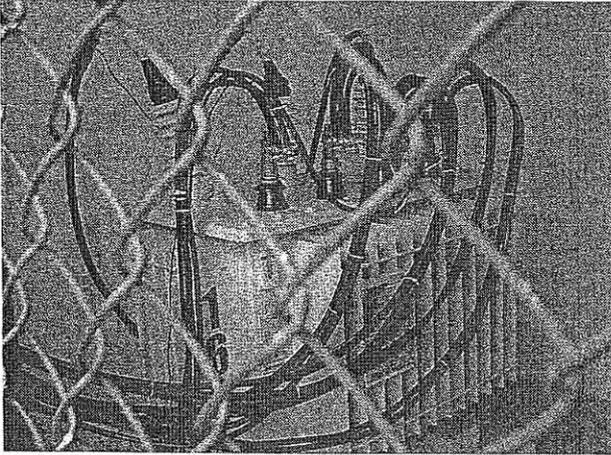
象カメ増殖センター
ツーリストにて対し、象カメの生態について説明がなされている。



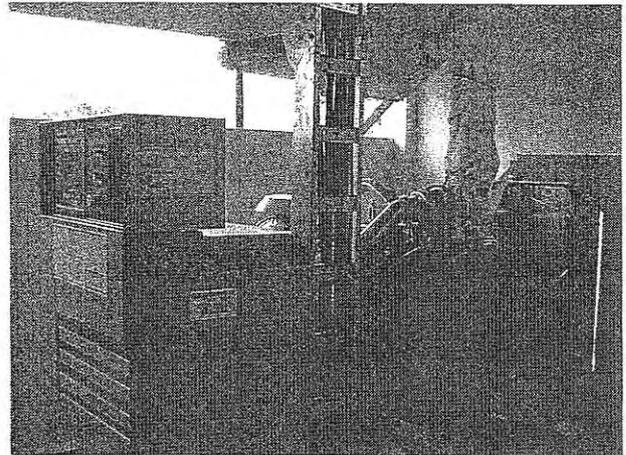
スペインビジターセンター
スペインの援助にて建設された。関係者によると維持管理の負担が大きいとのこと。



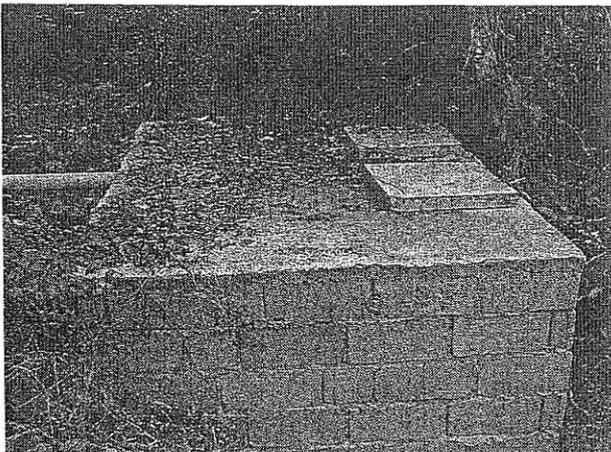
スペインビジターセンター
木材の反りで、修理・補修が必要である。電圧変動も大きく、電球の交換が月あたり30個とのこと。



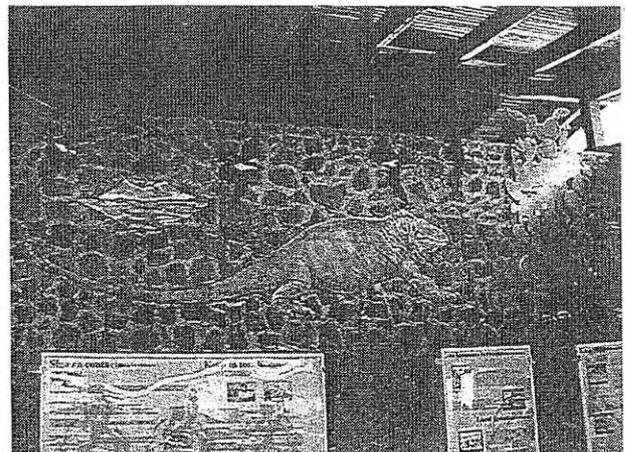
変圧器
電気容量160KVA。現在公園内で使用する必要電気容量は80 KVAである。



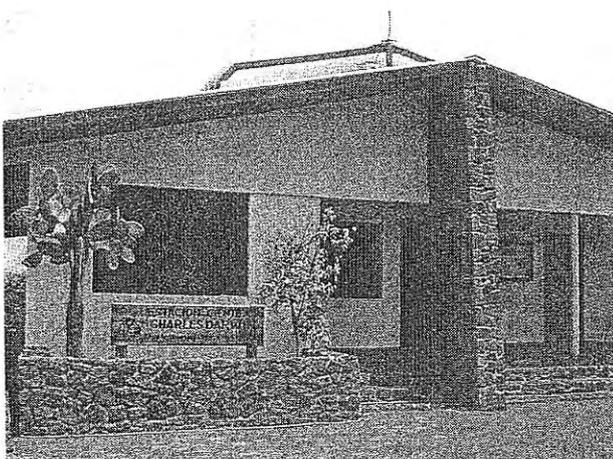
非常用発電機
緊急時に備え、113KVAの非常用発電機を設置している。



浸透式浄化槽
汚水処理施設がないので、各施設にて浸透式の浄化槽を設置し、汚水、排水の処理を行っている。



ガラパゴス諸島 空港ロビー
ガラパゴス諸島にある溶岩石を利用されている。

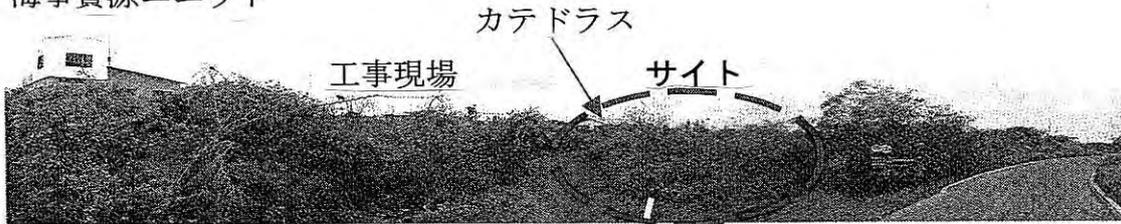


チャールズ・ダーウィン研究所
多くの公園敷地内の施設は外装や基礎スラブ、階段などに溶岩石を用いている。木材については、使用できる種類に制限がある。



市内の工事現場
ガラパゴス諸島の一般住宅・施設は、鉄筋コンクリート造りに、ブロック壁が主流である。

海事資源ユニット



建設予定サイト全景

